

平成 22 年度 高知市立高知商業高等学校 自己評価書

評価は、S...大変優れている、A...優れている、B...概ね良好、C...要改善の4段階

大項目	中項目	小項目(評価指標・具体的な取り組みP)	達成状況・改善方策	評価	
平成 22 年度重点指導計画	ビジネスマナー教育の徹底	授業規律の徹底 共通指導：授業者一分前教室着の厳守	全体的には概ね良好であり、市商祭後の規律の徹底が課題である。	B	
		清掃の徹底	概ね良好である。今後特に1年次における統一した指導が大切である。	B	
		服装指導の徹底 共通指導：日常的な点検・指導の実践	学年と生徒部の連携により随分と改善がみられた。計画的且つ日常的な指導が大切である。	B	
		挨拶・適切な言葉遣い指導の徹底 共通指導：職員室・準備室での指導徹底	概ね良好である。日常の生活における職員室等での指導をさらに徹底する必要がある。	B	
	伸ばす指導の徹底	学力向上・授業レベル向上・家庭学習時間増をめざす指導	指導の効果が始めている。One Week-trial の取り組みや課題の増加、日常の生活改善に役立てる指導が行なわれ、成果が出ている。	B	
		検定一級・高資格取得者を増やす指導 検定1級3種目取得 30名以上	商業科の取り組みや各ホーム・学科コースの取り組みによって目標を達成した。計画的指導が望まれる。	A	
		高いレベルの進路を実現する指導 国公立大学合格 15名以上 進路決定 100%	現在も取り組みを継続中である。国公立は現在12名であるが、県外大に合格した意味は大きい。また、各教科でも積極的な取り組みが進みつつある。	B	
		行事の質的向上をめざす指導	各教科でも指導し、全校あげて積極的に取り組んでいる。今後は具体的な目標をいくつか挙げ達成できるように取り組んでいく必要がある。	A	
		全国的レベルの部活動、生徒会活動の実現・文化部を活性化させる指導の充実 部活動加入 100% 全国大会 10種目以上	部活動加入率・全国大会ともに達成。文化部や商業科でも今年積極的に取り組まれており成果も上がっている。体育部の益々の振興を図る。	A	
		特色ある教育活動・新しい教育実践の創造	IS・大学見学・商品開発・工科大連携・高知大連携等取り組みが進んでいる。外部講師による講演など教科による新しい実践も行なわれてきた。	A	
	コミュニケーション能力の育成	授業における「論述する」「発表する」活動の促進	各教科において、取り組みが進んできている。研究授業でも意識的に取り組めてきている。	B	
		コミュニケーション能力(傾聴能力・伝達発表能力・課題解決能力等)育成の観点を持った行事・生徒会活動や部活指導	集会においては、聞くことができている。行事における発表能力についても向上している。学年の講演会などにおいては課題があり、学年の取り組みの徹底が必要。	B	
	平成 22 年度重点学校組織運営計画	情報管理(組織文化)	校内LANの積極的活用 閲覧 100%をめざす	閲覧件数が昨年より飛躍的に増加している。しかし、一方で若干未閲覧者の固定化がみられる。	B
			公文書共有化の促進	未実施、未整備のまま。	C
各組織会議報告の収集と共有化			組織報告書の提出部署が2極化している。	C	
人材開発(組織過程)		授業改善実践の一層の充実	計画通りに実施中。質的向上が見られる。	B	
		若者の起用と育成	運営委員会・新教課検討委における若年層の活躍が見られた。	B	
		中堅教員のリーダーシップの育成	管理職による支援が不十分である。	C	
改善力のある組織体制		学校課題の共有化	Webの活用進む。学年別等小G討論の実施	B	
		5w2hを明確にした提案型会議の推進と新しい教育実践の創造	会議は推進されているが、今後より多くのボトムアップの提案が求められる。	C	
		学校再編計画の推進	充実した新教育課程推進委員会が実施されている。	A	
		総合的キャリアプランの策定	進路部をはじめあらゆる部署で取り組まれており、成果も出ているが、策定までは至っていない。	C	
各部署の組織運営・活動		特進コース・学力向上策の推進	一層の研究と周到な実践計画立案が必要である。	C	
		計画的かつ主体的な組織運営	概ね良好である。	B	
		明確な役割分担と責任体制	概ね良好である。情報班・数学科は徹底している。	B	
		報連相の徹底	概ね良好である。	B	
総合計画	特色ある学校として中学生に選ばれ、進学にも就職にも強い持続的発展可能な学校をめざす (総合指標：県下一の入学志願者数)	教務部のリードのもと中学校説明会の実施校数、生徒・保護者の反応も上々である。今後も進学にも就職にも強い学校を目指す。	B		

経営のまとめ (成果と課題)	<p>(成果) (1) 伸ばす指導において、検定の成果や部活動実績、行事の質的向上、新しい実践など成果がでてきた。 (2) 学校再編計画についても、早い段階から積極的な論議が進行している。</p> <p>(課題) (1) 学力向上対策は重要な課題である。 (2) ビジネスマナーの徹底、特に授業規律の確立の責任は教員の側にあることを再認識し、粘り強く取り組みを強化する必要がある。また、共通指導の重要性を全員再確認し実践すること。 (3) 就職 100%実現・国公立大学受験者へのさらなる細かい指導計画が必要である。 (4) 学校組織運営については、いくつか課題があり、今後適切な管理運営計画が必要である。</p>
-------------------	---